

令和2年8月定例教育委員会 会議録

- 1 日 時 令和2年8月27日(木) 開 会 午後 2時00分
閉 会 午後 2時45分
- 2 会 場 茅野市役所 203 会議室
- 3 出席委員 教育長 山田 利幸 同職務代理者 矢崎 靖雄
教育委員 濱 勝之 教育委員 永嶋 陽子
教育委員 勅使川原 はすみ
- 出席者 こども部長 有賀 淳一 生涯学習部長 北沢 政英
こども課長 五味留美子 幼児教育課長 柳澤 澄子
学校教育課長 五味 正 生涯学習課長 藤森 隆
文化財課長 五味 健志 スポーツ健康課長 中村 浩明
こども係長 宮下 孝 教育総務係長 立石 淳二
生涯学習係長 河西 茂廣 教育総務係主事 牛山 紘貴
- 4 傍聴者 3名

8月定例教育委員会次第

日 時 令和2年8月27日（木）午後2時00分から

場 所 市役所 203会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第1号 教育長報告

第2号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第3号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）市議会9月定例会一般質問について

（2）市議会9月定例会に提出される議案について

5 検討事項

（1）要望書について

6 その他

（1）市議会9月定例会に提出される茅野市教育委員会人事案件について

（2）学校の新しい生活様式について（8/6版 Ver.3）

（3）その他

次回定例教育委員会日程について

9月25日（金） 9時30分「8階大ホール」

（事務局会議 9月15日（火） 9時00分「702会議室」）

7 閉会

教育長

只今から8月定例教育委員会を開催します。

前回7月の会議録承認について確認します。承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

ありがとうございます。

報告事項に入ります。報告事項第1号の資料をご覧ください。

8月3日に市表彰式がありました。勅使川原委員さんお疲れ様でした。

同日に諏訪地域の高校の将来像を考える協議会がありました。コロナの関係でストップしていましたが、この日から再開となりました。後ほどご説明させていただきたいと思います。

4日に総合教育会議がありました。ご出席ありがとうございました。

5日に県教委と教育長との懇談会がありました。Web会議で行いました。

6日に茅野市平和式典がありました。

20日に子ども家庭応援会議がありました。今までの子ども家庭の進捗状況について、確認をしていただきました。

22日に茅野市戦没者等追悼式がありました。

25日に諏訪地域の高校の将来像を考える協議会がありました。3日に続き、高校改革の全体会が開かれました。現在、同窓会の方々からご意見をいただき、その内容について検討を進め、今年度末には諏訪地域としての報告書をまとめる予定です。良い未来を拓けられるようになればいいなと思います。

本日は諏訪市町村連絡会がありました。矢崎委員さんご出席ありがとうございました。

報告は以上となります。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次に各課から報告事項第2号についてお願いします。

[各課から9月行事予定について報告]

資料（報告第2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課・スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]
資料（報告第3号）

教育長

報告事項についてご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

ありがとうございました。

次に議案第1号「市議会9月定例会一般質問について」お願いします。

こども部長

議案第1号の資料をご覧ください。

9月定例会一般質問において、15名の議員さんより通告をいただいています。

この内、教育委員会に関係するものとして、6名の議員より7問のご質問をいただいています。

発言順序4番の伊藤玲子議員からコロナ禍における子どもたちへの支援について、3項目のご質問をいただいています。

1つ目が子どもたちの不安や困っていることに寄り添えているのか。

2つ目が今年度の学校行事について。

3つ目が保護者や子どもたちが得た教訓や意見を聞き取り、今後の教育環境の構築のために活かしていくことについて、ご質問をいただきました。

続いて、発言順序5番の両角実晃議員より自転車の交通安全対策についてご質問をいただきました。こちらは市全体の自転車の交通安全対策についてという事ですが、その中で、部分的に小中学生の交通安全の取り組みについてご質問をいただいています。

続いて、裏面をご覧ください。発言順序10番の机博文議員より学校給食等における地産地消について、5項目のご質問をいただきました。

1つ目が地産地消と食育への取り組みについて。

2つ目が給食地場産連絡会への現状と課題について。

3つ目が子どもたちとの交流機会について。

4つ目が直売所との連携について。

5つ目が今後の展開と助成の考え方について、ご質問をいただきました。

生涯学習部長

続いて、発言順序 11 番の伊藤勝議員より指定文化財の保護管理について、3 項目の質問をいただいています。

1 つ目が文化財の指定解除の考え方について。

2 つ目が指定文化財の保護管理者は誰なのかについて。

3 つ目が保険や補助金等の考え方について、ご質問をいただきました。

こども部長

続いて、発言順序 14 番の木村かほり議員より妊娠前から子育て期の切れ目ない支援体制について、主には市側への質問となりますが、一部こども部関係の質問が入ってきています。小項目として、育ちあいのや保健福祉サービスセンターなどの相談体制について、少子化における婚活支援と家族支援について、ご質問をいただいています。

また、同じくコロナ禍での学びの保障と多様な学びへの取組について、3 項目の質問をいただいています。

1 つ目が 3 月からの休校による影響と今後について。

2 つ目が多様な学びの取組の現状と今後について。

3 つ目が学校外での学びの場について、ご質問をいただきました。

最後に発言順序 15 番の望月克治議員より小中学校における感染防止対策について、5 項目のご質問をいただいています。

1 つ目が感染症対策に必要な物品を十分に提供できているかどうかについて。

2 つ目が校内で対応する保健室の設備は整っているかどうかについて。

3 つ目が学校での急な発熱時にどのような対応をすることになっているのかについて。

4 つ目がインフルエンザの流行が重なった場合の対応は検討しているのかについて。

5 つ目が学校内での感染対策を充実し、教職員の負担軽減をするためにも養護教諭の任命体制を取ることはできないかについて、ご質問をいただきました。

議案第 1 号については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次に議案第 2 号「市議会 9 月定例会に提出される議案について」をお願いします。

こども部長

議案第 2 号の資料をご覧ください。

昨日、議会が開会され、資料のとおり議案が提出されました。この中で教育委員会に係るもののみご説明させていただきます。

1 つ目として、議案第 45 号茅野市教育委員会委員任命の同意を求めることについて。こちらは、後ほどご説明させていただきます。

次に議案第 47 号茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び茅野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について。

次に議案第 48 号令和 2 年度茅野市一般会計補正予算（第 5 号）についてです。

それでは、それぞれについてご説明させていただきます。

議案第 47 号について、資料裏面をご覧ください。

茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び茅野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を別紙のとおり定めるものです。

3 ページをご覧ください。提案理由ですが、子ども・子育て支援法附則第 2 条第 4 項等に基づく、子ども・子育て支援新制度施行後 5 年の見直しに係る検討結果により講じられたこと等による、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、関係規定を整備するため、本条例を提案するものです。

平成 27 年度に施行された子ども・子育て支援法の附則において、施行後 5 年を目途とし、法律の施行の状況等を勘案し、必要があると認めるときには検討を加え、その結果に基づき所要の措置を講じるとされています。

平成 27 年度施行から計算して、5 年目の令和元年度に国の子ども・子育て会議において検討がなされました。その結果、内閣府においては、特定教育保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準。厚生労働省においては、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の 2 本を改正しました。

この内閣府令と厚生労働省令はともに市町村が条例を定めるときにあたって従うべき基準及び参酌すべき基準を定めたものです。今回の条例改正はともに従うべき基準の内容が改正されたため、この内閣府令と厚生労働省令の一部改正に従って条例改正を行ったものです。

改正の規定ですが、資料として新旧対照表を添付してあります。最後のページには用語説明も載っていますので、こちらも参考にいただければと思います。

新旧対照表の1ページ目をご覧ください。

第2条第23号は、子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、根拠法令の項ずれが生じたため、これに対応するものです。

第42条第4項は、通常2歳児までの受け皿となっている特定地域型保育事業者が、卒園者である3歳以上児の受け皿の確保について規定している条項です。今回の一部改正については、国の子ども・子育て会議の意見をふまえて、具体的に例示をするべきとなったことに伴い、内閣府令が改正されたことによる改正になります。

2ページをご覧ください。第2号は従前の第4項の本文で規定していたものを1号追加したことに伴って、規定し直したための改正となっています。

第5項は前条の第4項が2号立てになったことに伴い、今までと同じように規定するために文言を追加する改正となっています。

続いて、家庭的保育事業の条文になりますが、第8条第4項及び第5項は家庭的保育事業者に関して、さきほどの第42条第4項の一部改正と同じ理由、同じ内容の改正になります。

3ページをご覧ください。第18条第2項第3号については、委託と受託の字句の誤りの修正と、利用乳幼児の明確化になります。

4ページをご覧ください。第25条第2項第2号は、児童福祉法の一部改正に伴い、根拠条文の項ずれが生じたため、これに対応する改正です。

第39条第4号は、居宅訪問型保育事業者が提供する保育を規定している条項ですが、国の子育て・子ども会議における意見をふまえ、省令が改正されたため改正するものです。

附則としてこの条例は、公布の日から施行するものです。

なお、これらの条例に関わる施設については、今のところ茅野市内には無い状況です。

以上が議案第47号関係になります。

続いて、議案第48号茅野市一般会計補正予算について、ご説明させていただきます。

主に教育委員会に関連のあるところについてご説明させていただきます。

予算書の1ページ目をご覧ください。歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ69,323千円を減額し、歳入歳出それぞれ32,259,907千円とするものです。

9ページをご覧ください。歳入歳出補正予算事項別明細書については、11ページまでが総括表となっており、12ページからは歳入の明細、20ページからは歳出の明細となっています。

初めに歳出からご説明させていただきます。24ページをご覧ください。

3款民生費2項2目保育所費の各事業についてですが、こちらは財源振替になります。事業1人件費、事業3延長保育事業費、事業5広域入所委託事業費につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により登園を控えていただいた児童の保育料を還付するため、それぞれ特定財源の保育所入所児童保育料を一般財源へ財源振替するものです。

事業2 保育所運営費につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により登園を控えていただいた児童の給食費を還付するため、特定財源の児童給食費実費徴収金を一般財源へ財源振替するものです。また、当初予算で予算措置させていただいた経費のうち、コロナ対策に係る経費に国の保育対策総合支援事業補助金を特定財源として充当することに伴い、一般財源を同額減額するものです。

事業8 私立保育園等支援事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により登園を控えていただいた児童の保育料を還付するため、特定財源の保育所入所児童保育料を一般財源へ財源振替するとともに当初予算で予算措置させていただいた経費のうち、コロナ対策に係る経費を国の保育対策総合支援事業費補助金を特定財源として充当することに伴い、一般財源を同額減額するものです。

同項3 目事業1 ひとり親家庭等支援事業費で1,193千円の補正減となります。新型コロナウイルス感染症の影響により親と子の集い事業を中止したことによる減額となります。

26ページをご覧ください。同項同目事業4 ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費は臨時交付金への財源振替です。

32ページをご覧ください。10 款教育費で10,138千円の補正減となります。

1 項1 目事業1 教育委員会運営費で1,200千円の補正減です。新型コロナウイルス感染症の影響により県を越えた移動を自粛せざるを得ない状況が続くことから、行政アドバイザーの選任を保留したことによる減額補正です。

同項2 目事業3 学校教育総務事務費、2 項1 目事業2 小学校運営費、同項2 目事業1 小学校教育事務費、34ページをご覧ください。同項同目事業2 小学校情報教育推進費、3 項2 目事業1 中学校教育事務費、同項同目事業2 中学校情報教育推進費の6事業は、新型コロナウイルス対策に係る経費を国の新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金を特定財源とすることに伴い、一般財源から財源振替を行うものです。

5 項2 目事業4 芸術鑑賞講座事業費で4,052千円の補正減です。新型コロナウイルス感染症の影響により芸術鑑賞講座を中止したことによる減額です。

同項同目事業8 芸術祭等開催事業費で1,236千円の補正減となります。新型コロナウイルス感染症の影響により市民音楽祭及び芸能祭を中止したことによる減額です。

同項6 目事業4 図書館資料購入事業費は臨時交付金への財源振替となります。

同項10 目事業3 考古館施設管理費の財源振替です。新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大の影響により、考古館観覧料が減額となることに伴い、一般財源を同額増額するものです。

6 項1 目事業3 大会開催関連事業費で3,650千円の補正減です。新型コロナウイルス感染症の影響により、縄文の里マラソンを中止したことによる減額補正です。

同項2 目事業1 スポーツ施設管理費は財源振替です。新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大の影響により運動公園体育施設使用料が減額となることに伴い一般財源を同額増額するものです。

以上が歳出となります。

次に歳入について、12 ページをご覧ください。先程の歳出のとおり、財源振替によるものです。

38 ページには補正予算給与費明細書を添付してありますので、ご覧を頂ければと思います。

議案第 2 号の説明については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次に検討事項 1 「要望書について」をお願いします。

学校教育課長

検討事項 1 の資料をご覧ください。

本年 6 月 18 日付けで、こどもの学びを広げ隊から感染症流行時や災害発生時の「学びの保障」について検討する会議の設置を求める要望書をご提出いただきました。

要望書の主旨についてですが、緊急時でも学校の教育機能とセーフティーネットとしての機能を維持できる仕組みを構築しておくことは、今後の社会を見据えた必須の対策であるとの考えをいただき、要望事項として、3 項目いただいています。

1 つ目として、緊急時における学びの保障や、学校機能の強化を進めるための専門家会議「感染症流行時や災害発生時の『学びの保障』について検討する会議」を茅野市に設置してほしいということ。

2 つ目として、設置に当たっては、ICT の専門家、学校教諭、民間教育機関関係者、保護者、医療関係者、経済の専門家などが、幅広く参加、もしくは、意見を求めることができるようにしてほしいということ。

3 つ目として、設置した会議では以下のことを検討してほしいと要望がありました。1 つ目が双方向型オンライン授業に対応できる体制づくり。2 つ目が休校時の子どもの居場所整備、窓口の一本化。3 つ目が「子ども」と「子どもの学び」を守るために官民協力を具体的に進めてほしいということで、3 項目の要望をいただきました。

次のページをご覧ください。ご提出いただいた要望書に対して、次の通り市として回答をさせていただきました。

1 目については、平成 29 年度に全ての小中学校にコミュニティスクールを設置しました。感染症流行時や災害発生時の「学びの保障」といった新たな課題につきましても、この仕組みを活かし、学校と保護者、地域住民の協働による検討をしていきたいと考えますので、新しく会議を設置することは、今のところ考えていないことを回答させていただきました。

2 目について、コミュニティスクール運営委員会は、幅広く参加いただき、意見やアドバイスを求める仕組みとなっています。このような、既存の仕組みを活用し、新たな人材にも参加いただきながら、要望にありますような新たな課題にも対応していきたいと回答をさせていただきました。

3 目について、コミュニティスクール運営委員会で検討いただくほか、茅野市 ICT 教育推進会議、どんぐりネットワーク茅野をはじめとする各種子育て関係団体や民間の教育関係者との協議の中で話題にし、検討していきたいと回答させていただきました。

何かご意見等ありましたら、お出しいただければと思います。

教育長

ご意見やご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

ありがとうございました。次にその他 1 「市議会 9 月定例会に提出される茅野市教育委員会人事案件について」をお願いします。

こども部長

その他 1 の資料をご覧ください。

茅野市教育委員会委員任命の同意を求めることについてです。

こちらは、昨日の議会に議案として提出され、人事案件であることから即日同意が成されたところです。

教育委員さんはご承知の通り 4 名の方をお願いをしているところです。この内、矢崎靖雄さんの任期が 9 月 30 日をもって満了することになりますので、後任の委員に矢島喜久雄さんをお願いするということで提出されたものになります。

矢島喜久雄さんにつきましては、昭和 25 年生まれの 70 歳で、金沢地区大沢のご出身でございます。学校現場に長くご勤務され、教諭からスタートし、平成 15 年に諏訪市立城南小学校長、平成 18 年に原村立原小学校長、平成 20 年に茅野市立長峰中学校長をお勤めになられ、平成 23 年 3 月に定年退職をされました。また、その後、茅野市公民館に勤務され、

平成 25 年 4 月から本年の 3 月までは茅野市公民館長としてご勤務をしていただいたところ
です。

任期につきましては、令和 2 年 10 月 1 日から令和 6 年 9 月 30 日までの 4 年間となりま
す。

また、矢崎委員さんにおかれましては、長年のご勤務ありがとうございました。

その他 1 については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次にその他 2 「学校の新しい生活様式について 8 月 6 日版 Ver.3」を私から説明させてい
たきます。

その他 2 の資料をご覧ください。8 月 6 日付けで文科省から学校における新型コロナウ
イルス感染症に関する衛生管理マニュアルが出されました。最新のコロナウイルスに関す
る知見に基づいて、今までのバージョン 1 とバージョン 2 から変わった点がいくつかあり
ます。

資料については、全部で 57 ページあることから、変更点等を載せた概要版をこちらで用
意させていただきました。市のホームページにもアップし、また、家庭にも周知していく
予定です。

1 ページ目をご覧ください。

これまでの全国の児童生徒の感染状況については、専門家による最新の分析結果により、
これまでの事例からみる限りでは、学校関係者に感染者がいたとしても、「学校における新
型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル「学校の新しい生活様式」」にした
がって感染症対策を行っていた場合には、学校内で感染が大きく広がるリスクを下げるこ
とができると考えられます。「3つの密」を避ける、「マスクの着用」及び「手洗いなどの
手指衛生」など基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」を導入しつつ、可能な限
り、授業や部活動、各種行事等の教育活動を継続し、子どもの健やかな学びを保障してい
くことが重要だと定義付けされています。

ただし、子どもたちの中から感染者を出さない、あるいは学校内でクラスターを出さな
いためには、今まで以上に警戒心を持ち、できる限りの事はしていかなければならないと
考えています。

2ページをご覧ください。基本的な感染症対策の実施について、こちらは県教育委員会からも今までこうした例で通知が出ていましたが、正式に感染源を絶つという事でこの文書の中に規定がされました。

次に感染経路を絶つこと、飛沫感染、接触感染への対応について、清掃・消毒では清掃活動について文部科学省からは次のように示されています。

「学校生活の中で清掃により清潔な空間を保つことは大切です。通常の清掃活動の一環として、新型コロナウイルス対策に効果がある家庭用洗剤等を用いて、発達段階に応じて児童生徒が行っても差し支えないと考えます。また、スクール・サポート・スタッフや地域学校協働本部による支援等、地域の協力を得て実施することも考えられます。消毒作業を別途行うことは、感染者が発生した場合でなければ基本的には不要です。」ということです。

今回、市内全小中学校にスクール・サポート・スタッフが配置されました。従い、スクール・サポート・スタッフの方々と学校と相談し、必要に応じては、スクール・サポート・スタッフの方にもお手伝いしていただきながら、体制を整えていきたいと思っています。

尚、スクール・サポート・スタッフに関連したことで、学習支援員と学習補助員の方々も市内全小中学校に配置することができました。

続いて、普段の清掃・消毒のポイントとして、1つ目が床は、通常の清掃活動の範囲で対応し、特別な消毒作業の必要はありません。こちらは、学年の発達段階に応じて対応していかなければならないと思います。

2つ目が机、椅子についても、特別な消毒作業は必要ありません。

3つ目が大勢がよく手を触れる箇所のドアノブ、手すり、スイッチなどは、1日に1回、水拭きした後、消毒液を浸した布巾やペーパータオルで拭きます。

4つ目がトイレや洗面所は、家庭用洗剤を用い児童生徒による通常の清掃活動の範囲で清掃し特別な消毒作業の必要はありません。一応、家庭用洗剤としていますが、教育委員会として、アルコール消毒液等の準備もしてあります。

次に集団感染のリスクへの対応について、マスクの問題についてです。こちらは、熱中症予防を最優先とし、気温・湿度や暑さ指数が高い日には、熱中症などの健康被害が発生するおそれがあるため、マスクを外すこととしています。

次に学校において感染者等が発生した場合の対応について、児童生徒の感染者、濃厚接触者が発生した場合、県の衛生主幹部局、保健所との協議、指示のもと、文科省への報告やアドバイスがあります。以上の指示のもと、出席停止期間は、感染者と最後に濃厚接触をした日の翌日から起算して2週間となります。

臨時休業については、保健所による濃厚接触者の範囲の特定や検査結果により臨時休業の措置を行います。全校ではなく、該当学年、該当学級のみの場合もあります。なお、必ずしも臨時休業の必要が無い場合もあります。3月から6月期のように全市一斉の臨時休業は、全市で極めて重大な状況が生じた場合となります。

全国的には、感染者が発生した後、1日から3日の臨時休業を実施してから、学校を再開する例が一般的です。

教職員の感染、濃厚接触の場合も児童生徒と同様の対応を行います。

今回、このような形で定義づけがありました。こうした中でオンライン教育の準備を着実に進めていきたいと思います。2学期の今の段階では、ZOOMについては全学校で使用できるようになっています。

その他1については以上となります。

質問やご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

最後に事務局より次回の日程について報告をお願いします。

教育総務係長

次回9月の予定を報告させていただきます。定例教育委員会を9月25日（金）午前9時30分から8階大ホールで行います。事務局会議については、9月15日（火）午前9時から702会議室にて行います。よろしくお願いします。

教育長

ありがとうございました。以上で8月定例教育委員会を閉会します。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

令和 2 年 9 月 25 日

茅野市教育委員会 教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こ ども 部 長